

令和7年度 信学会上田幼稚園 「自己評価および学校〔園〕関係者評価」

1. 園の教育目標

「あかるい あいさつをしよう」「げんきに なかよく あそぼう」「からだいっばい たのしもう」

2. 本年度の重点目標

子どもの感性や表現力を育てる 楽しみながら体力づくりをする ことばの力を伸ばす

3. 自己評価

A…十分達成されている

B…達成されている

C…取り組んでいるが、成果が十分でない

D…取り組みが不十分である

項目	自己評価内容	評価
教育課程・指導	・園は目指している教育目標、本年度の重点目標を周知している。	A
	・教育課程実施において、教職員は共通理解をしている。	B
保健管理	・日常の健康観察や、疾病予防のための取り組みや健康診断などを行っている。	A
安全管理	・事故やケガ等発生時の危機管理マニュアルが整備されている。	B
組織運営	・園長は教育目標の達成に向けリーダーシップを発揮し、職員をリードしている。	A
	・園運営が適切に機能するために、運営・責任体制の整備を行っている。	B
研修（資質向上への取組）	・法人実施の研修会への参加と、園内研修会の実施をしている。	B
	・日々の保育の振り返りと課題を明確にしている。	B
教育目標・園評価	・幼児の実態、保護者の意見要望などを踏まえた園目標を設定している。	A
	・保護者アンケートの実施と、学校関係者委員会（モニター会）を設置している。	A
	・本年度の重点目標達成のための取り組みをしている。	A
情報提供	・園公開を実施し、園の取り組みを広く情報提供している。	A
	・園の情報を広く公開するために、ホームページ等を活用している。	B
保護者・地域住民との連携	・PTA や学校関係者委員会（モニター会）等で定期的に懇談会を実施している。	B
子育て支援・預かり保育	・地域における保護者の実情や、子育て支援ニーズを把握している。	B
	・保護者の実情や要望を取り入れ、預かり保育・希望保育事業を実施している。	A
教育整備環境	・子どもの成長に則した教育環境になるよう工夫を重ねている。	B

4. 学校関係者評価委員(モニター)からの評価

- ・ 1年間を通して季節や伝統文化に関わる行事、園外保育などがあり、豊かな体験ができていたことがありがたい。園としては、今後も日頃の活動や行事を通して、重点目標の達成につながる教育、保育の充実に努めたい。体験を通してどんな力が育っているのかを意識し明確にしていきたい。
- ・ 子どもたちの実態や具体的な姿について、保護者と職員、職員間の情報共有がより充実するよう努めてほしい。レーザーキッズを活用した情報のやり取りはありがたい。
- ・ モニター会で出された意見、要望について、園で対応していただいた。今後も貴重なご意見について真摯にお応えしていくことが信頼関係を築く上で大切である。

5. 今年度の総合的な園評価と次年度への課題

- ・ 保護者アンケートの「安心して通園している」「教育方針や内容を周知している」について、肯定的な評価をいただいた。自由記述にも園の取組や職員の対応・支援について、励ましや感謝のお言葉があった。自己評価の結果を踏まえて、園の目標や重点を共有し、日常の活動を不断に見直していく。
- ・ 保護者の方の関心が高い情報提供や意思疎通については、来年度新しい試み（連絡帳のデータ化）を活用しながら充実を図っていく。園の活動や子どもたちの姿は、引き続きレーザーキッズで伝えていく。
- ・ 職員の資質向上について、職員は課題を感じている。子どもの実態や願いから活動や環境を構想していく研修の在り方を検討する機会を設けていく。